

報道関係各位

平成29年3月14日

## 小児がんへの理解促進のための絵本 がん教育読本「友だち～ぼくとゆう君」を作成・公開

公益財団法人日本対がん協会(会長・垣添忠生)は、小児がんへの理解促進を目指した小学生向けの絵本形式のがん教育読本「友だち～ぼくとゆう君」を作成し、日本対がん協会のホームページ「がん教育」の特設ページ(<http://www.jcancer.jp/cancer-education/>)で3月14日から公開を始めました。

文部科学省は、小学校でもがん教育の授業を全国的に展開する方針です。小学校ではがんを通じて命の大切さを育むことが主な狙いで、主に取り上げられるのは大人になってからのがんについてです。

しかし、数は少ないものの、子どものがんもあり、学校の中でがんと闘っている子どももいます。がん教育読本「友だち～ぼくとゆう君～」は、そうした子どもたちへの友情や思いやりを考えるきっかけになり、小児がんへの理解を促すことを期待した内容となっています。



ぼ・ど・い・ま...

「おかえり。  
どうしたの? 元気ないわね。  
だれかとけんがでもしたの?」

.....

「だまってちゃわからないでしょう?」



ゆう君、がんはんだって。

絵本形式の12ページの物語と、小児がんに関するメモ解説(2ページ)の計14ページ構成で、ダウンロード・印刷してお使い下さい。

パソコン・スマートフォンでの閲覧用、片面印刷して2つ折りにして使う平綴じ用、両面印刷して使う中綴じ用の3種類のPDFがダウンロードできます。

**\* ご利用の際は日本対がん協会HP 内の「ご利用の条件」に従ってください。**

<企画・制作> 公益財団法人 日本対がん協会

<監修>細谷亮太 聖路加国際病院顧問 / 庄子寛之 東京都世田谷区立池之上小学校主任教諭